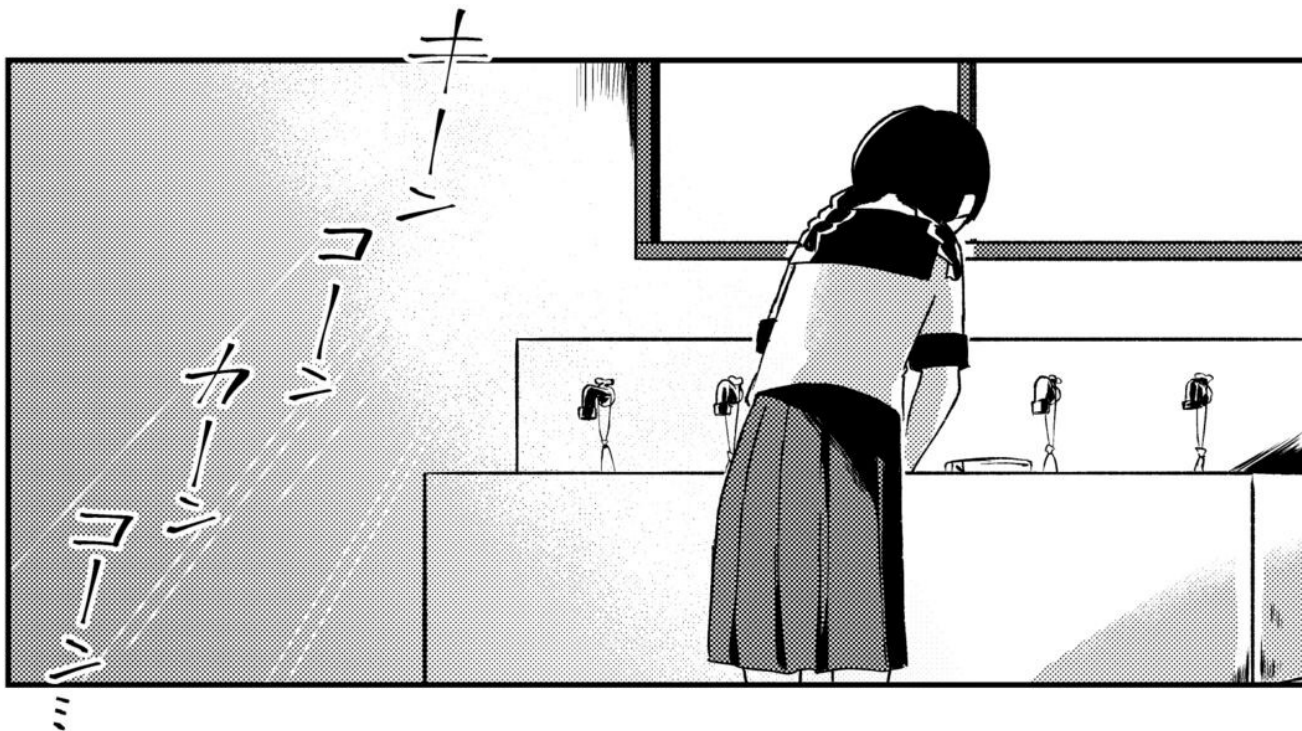


わたしの友達"ち"。

R-18

for adults





ここ来ると
いつも考える

どうして
周りの子は
冷たいんだろう



本当の友だちって
なんだろう



もー

自分で
やりなよー

汚いから
触りたくない

てかあの子が
やってくれるし
いいじゃん

2-1

都合のいい
標的にされて

『友だち』
という言葉で
押し付けられて

でも
あいつマジで
感じ悪いよね

いつも無口だし
汗臭いしー

ちよっとお
聞こえるって

あはは

ここに
私の居場所はない

でも…

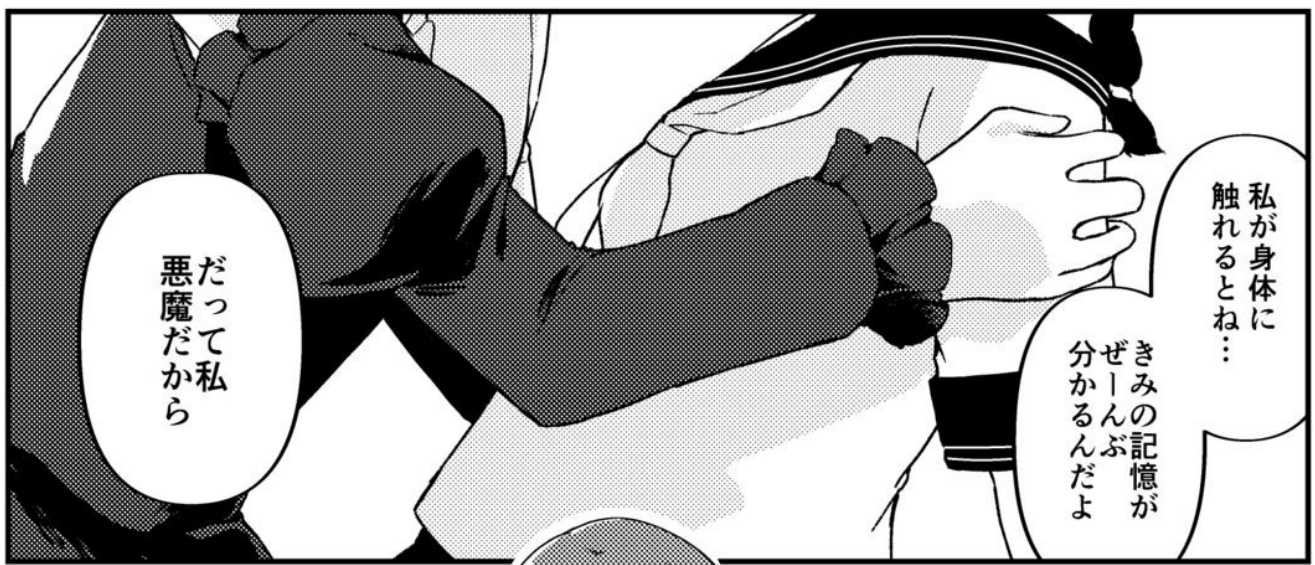




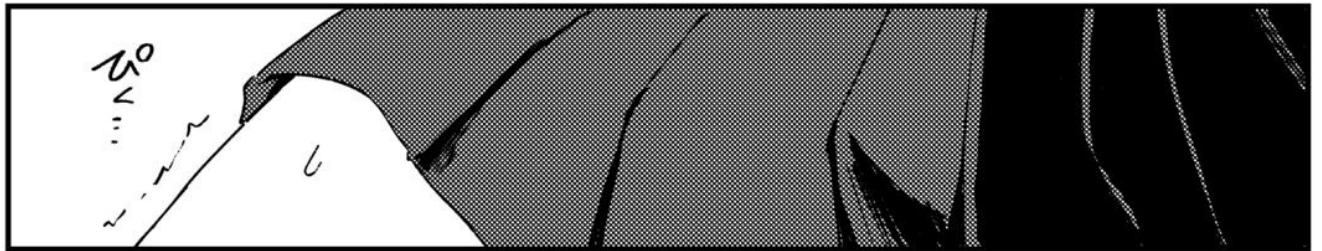






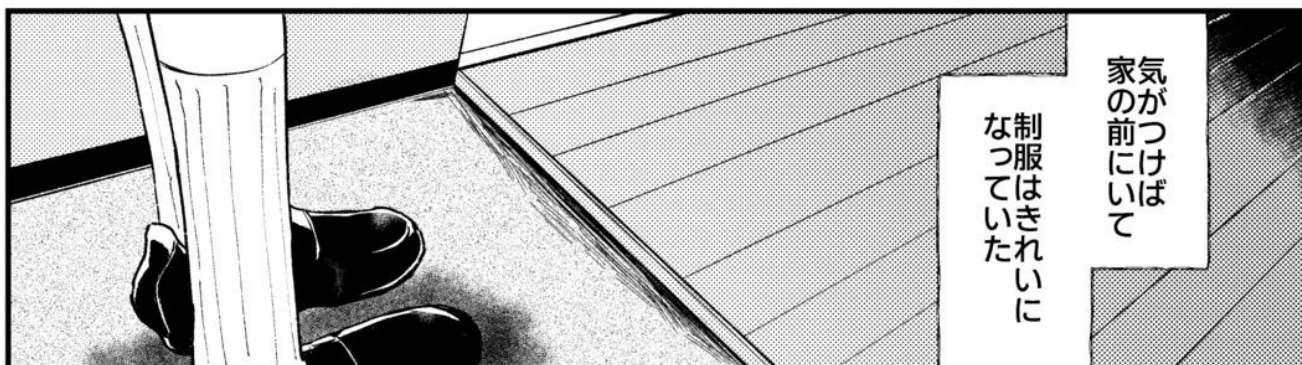






…今日は
ここまで
しよっか

また会おうね
えみちゃん



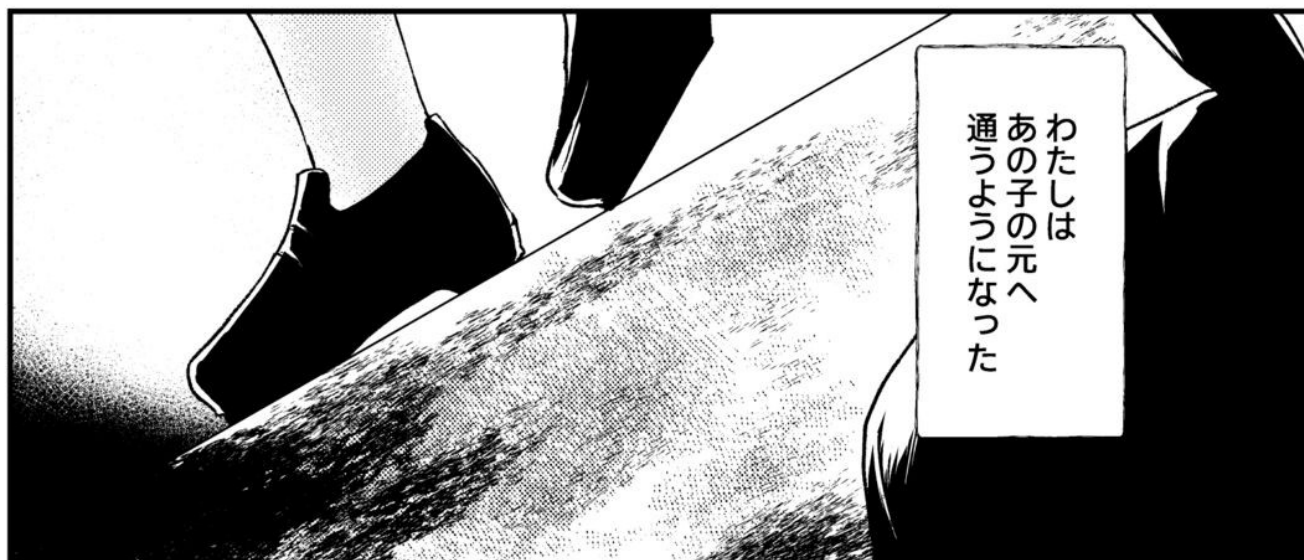
気がつけば
家の前にいて
制服はきれいに
なっていた



悪い夢から
覚めたような
気分

きょうは
いつもより
心が軽かっ
た

きっと
あの子のおかげだ



きっと
友だちとすること
じゃないけど

辛いことを
消してくれるのが
気持ちよくて





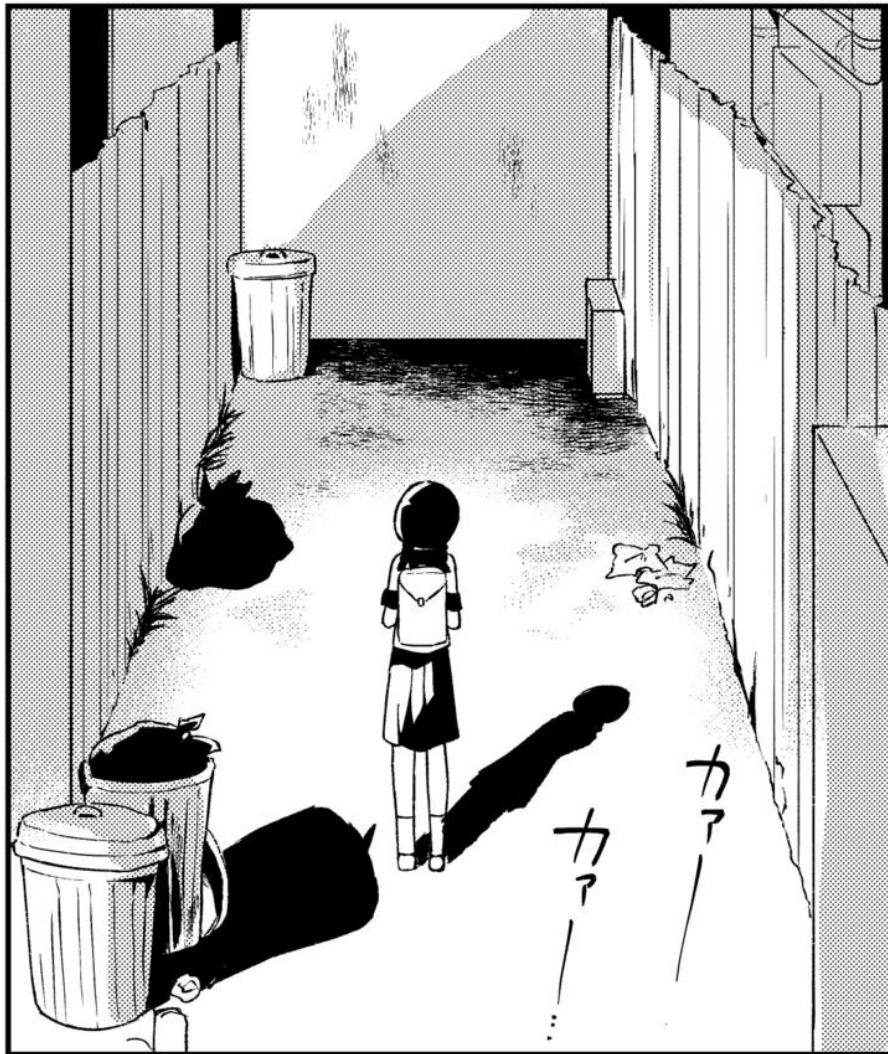
ずっとずっと
あのんちゃんの
ことだけ考えてる



あの子に会う以外
他のことはもう
どうでもいい



そう思えるぐらい
特別な存在になってた



あのんちゃん

きみだけが
わたしの：



えっ



今日は
いないのかな



ニギハヤヒ













えみちゃんの
綺麗なところも
汚いところも

私がいなきや
ダメなきみを

苦しむ姿も
よがる姿も
ぐちゃぐちゃの
表情も

全部私だけが
見ているから

ずっと
気持ちいいままで
いさせてあげる

だから

お
お
お

お
お
お



私のものになつて。

お

お

お

お

お

お

お

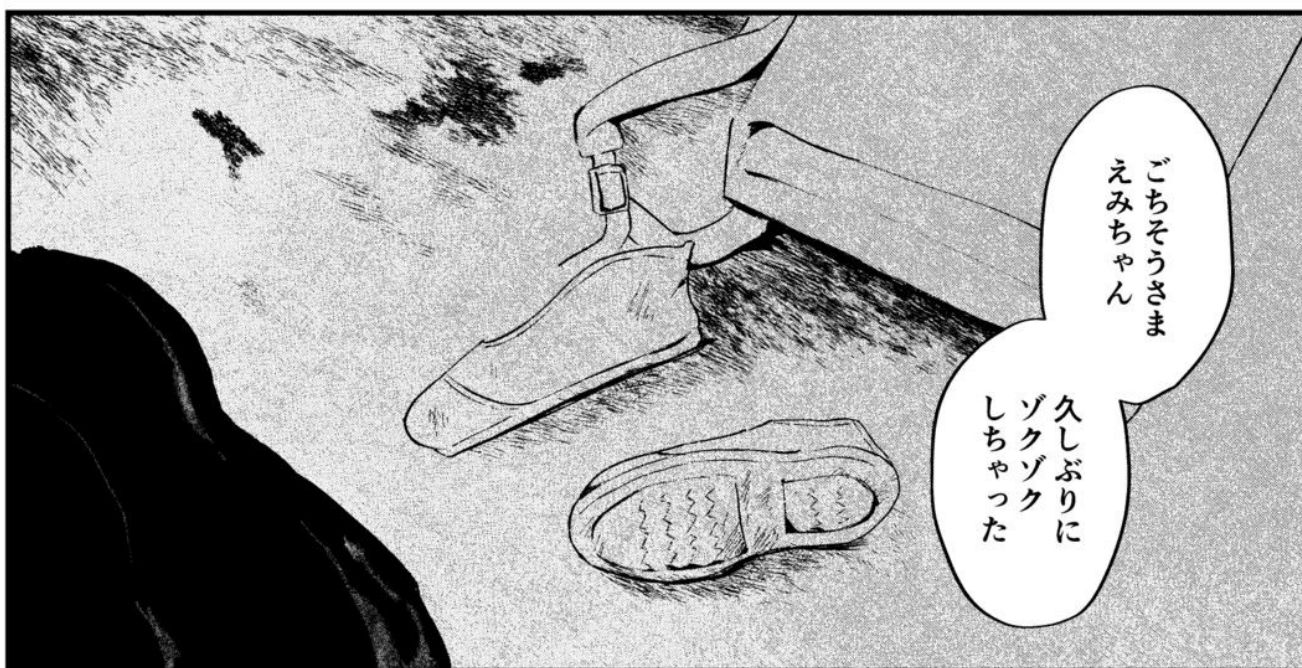
お

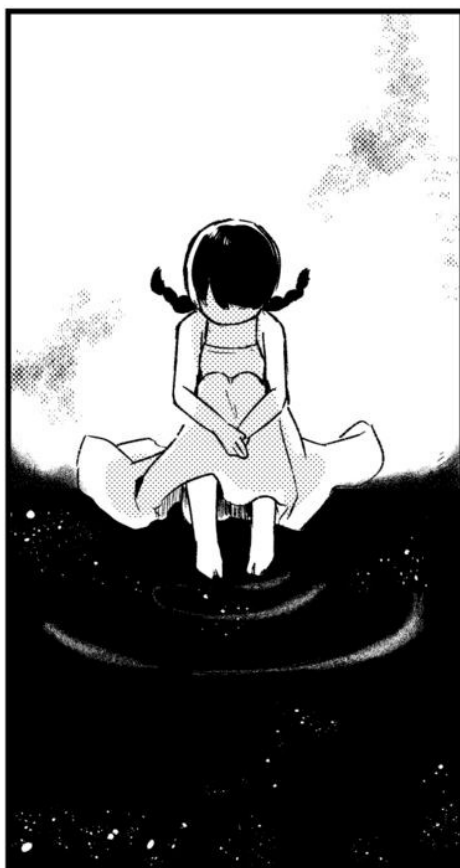
す
す
す

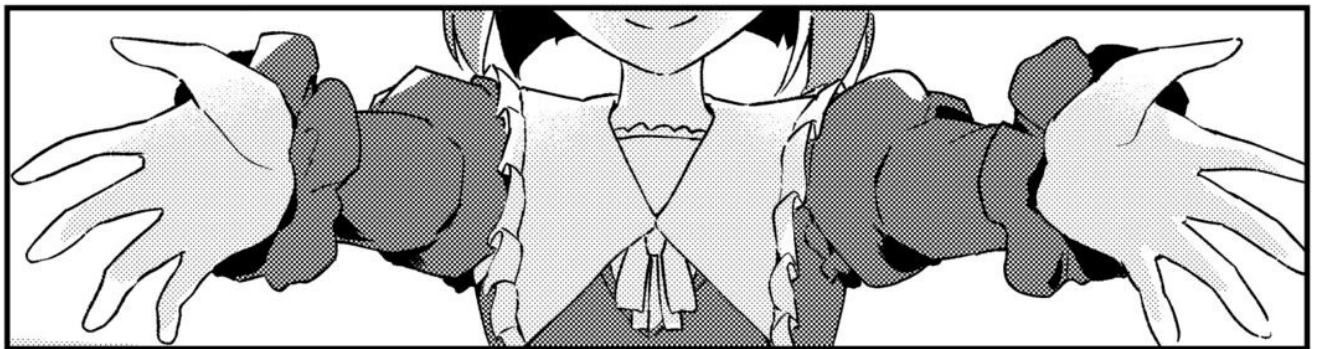
ありがとう

す
す
す

す
す
す









きみの
命が終わるまで

epilogue -きみだけの友だち-

黒く蠢くソレは、底無しの沼にひとりの人間を飲み込んだ。
先程まで触手の形を保っていたはずのソレは、泥のように溶けて水溜りとなり、
ひとりの悪魔の手の内に、ずるりと吸い込まれていった。

「きみが私を必要としてくれたの、嬉しかったんだ」

夕暮れの日が落ちて、長く伸びた影はゆっくりと暗闇に飲まれていく。
悪魔は置き去りになったスクールバッグを拾い上げ、そっと腕の中に抱いた。

「人間なんていつもだったら溶かしちゃうんだけど、きみは特別。
私を求めてくれる限り、死ぬまではずっと私の中にいていいからね」

一人ぼっちになった彼女は、自らの足元にできた影を見つめながら、ぼつりと呟く。

「それはそうと、お腹空いたなあ。また人間探ししないと」

空っぽのペール缶の中に、カバンと上履きを大事にしまってから、
少女はひとり、夜の路地裏を抜け出していった。

あとがき

初めまして、またはお久しぶりです。再び！念願のうちの子オリジナル作品を作りました。
触手を操る悪魔の女の子は、あのんちゃんといいます。女の子同士のイチャイチャに見せかけて、
悪魔に身も心も預けてしまうお話になりました。(触手なのに本番っぽい本番してないね？)

本当は夏コミに出したかった本、冬コミで出せてうれしいです。
そしてこのお話は続くかも？続報を待たれよ。

それでは、またどこかでお会いいたしましょう。

わたしの友だち。

発行者: ESKOLOGIC/咲坂えすこ
発行日: 2023年12月31日

X: @esko_kyoya Misskey.io: @esko_sk

・この本の複製・転載・フリマアプリ等への
出品を一切禁止します
・この本の登場人物は18歳を超えています